

令和3年度

公営企業会計当初予算説明資料

水道事業会計当初予算説明資料

工業用水道事業会計当初予算説明資料

公共下水道事業会計当初予算説明資料

浜田市上下水道部

令和3年3月 浜田市議会定例会議

令和3年度 水道事業会計当初予算説明資料



【上府配水池】

浜田市上下水道部

目 次

令和3年度 浜田市水道事業会計当初予算説明資料

1. 令和3年度予算編成の基本方針	1
2. 令和3年度予算の編成概要	1
3. 主要事業の状況	9
4. 令和2年度予算との比較	10
5. 収支の状況	11
6. 水道事業費用の構成	12
7. 上水道事業職員数の推移	12
8. 収支の概要	13

1 令和3年度予算編成の基本方針

平成30年4月に簡易水道事業を上水道事業に統合し、平成30年10月から段階的な料金改定を実施し、令和2年10月に市内全域の水道料金を統一した。

令和3年度予算編成においては、料金改定による給水収益の増加を見込むが、給水人口の減少に伴う有収水量の減少を考慮のうえ、継続的な経費節減等の経営改善に努める。

あわせて、老朽化が進む配水管等の計画的な更新を実施し、安全・安心な水道水の安定的供給に努めるとともに、持続可能な水道事業経営を目指す。

(令和3年度予算編成 基本方針)

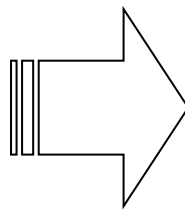
1) 経営健全化の推進と
経営基盤の強化

2) 事務事業の効率化と
計画的な事業の推進

3) 安全・安心な水道水の
確保と供給

4) 安定した給水の確保と
事故・災害対策の強化

【経営の視点による改革】



『きれいで安心して飲める
水道水を断水することなく安
定して供給する』

【市民への安全・安心な水道水の提供】

2 令和3年度予算の編成概要

令和3年度予算は、次の点に留意して編成を行った。

1. 主な留意項目等

(1) 給水収益(料金収入)の見込みについて

平成30年10月からの水道料金改定の段階的な実施により、給水収益は増収を見込む。人口減少及び節水に伴う人口1人当たりの使用水量の減少を考慮のうえ、令和2年度給水収益当初予算額に対し、2.8%の増収を見込んで予算編成を行う。

(2) 投資事業等の精査と借入れの抑制について

水道施設・設備の更新事業については、施設の老朽化の進行状況等を踏まえて、将来を見据えた効率的かつ計画的な更新を実施する。建設改良事業費に充てる企業債の借入については、借入額を建設改良費の概ね 50%程度に抑制することにより、企業債残高の段階的な削減に努める。

(3) 管路更新事業について

配水管の更新については、令和元年度から引き続いて、国の補助事業を活用し、重要給水施設に給水するための配水管や市街地の老朽化した基幹管路を耐震管へと切り替える。

(4) 災害対応及び漏水防止策の実施について

有収率の向上を図るため、漏水調査業務の計画的な実施に要する経費を予算計上する。

遠隔監視システムにより、各地区の配水池の夜間最低流量をチェックし、通常よりも使用水量が増加した地区の漏水調査を実施する。また、昼間の漏水調査で不明な箇所や騒音がある箇所については、夜間の漏水調査を実施する。

布設後 40 年以上経過した橋梁添架管については、保温材を剥がして状態を確認のうえ、必要に応じて錆止め等の補修を行う。

冬季の凍結に伴う漏水による断水を未然に防止するため、検針時のチラシ配布や市ホームページによる注意喚起等を行う。

(5) 水道事業審議会の開催について

水道事業に関する情報を提供し、受益者の意見等を積極的に聴取することにより、水道事業の円滑な運営を図るため、常設の附属機関である水道事業審議会を開催する。

2. 予算数値の概要

(1) 収益的収支（税込み）について（予算説明資料 P10 参照）

収益の柱となる給水収益は、料金改定による供給単価の上昇を見込んでいることから、1,299,430 千円（税込）を計上し、前年度当初予算と比べて、35,930 千円の増収（2.8%増）を見込む。

営業外収益も含めた総収益は、2,014,313 千円（税込）で、前年度当初予算額に比べて、86,417 千円の減収（4.1%減）を見込む。給水収益以外の主な収益としては、一般会計からの繰入金（統合前の簡易水道に係る起債の償還利息の 2 分の 1 相当分、高料金対策に要する経費相当分）、非現金収入としての長期前受金戻入（減価償却費に見合う財源の収益化）等がある。

費用の総額は 1,929,703 千円（税込）で、前年度当初予算と比べ 73,987 千円の減少額（3.7%減）を計上している。費用の主な減少要因としては、減価償却費及び企業債利息の減少等が挙げられる。

(2) 資本的収支（税込み）について（予算説明資料 P11 参照）

資本的収支は、収入総額 1,206,826 千円（税込）となり、前年度当初予算と比べ 74,514 千円の増加（6.6%増）を見込む。これは、国の補助金を活用した配水管更新事業に対する国庫補助金収入と企業債借入額の増加によるものである。

支出総額は 1,858,245 千円（税込）で、前年度当初予算と比べ 64,918 千円の増加（3.6%増）を見込む。これは、国の補助金を活用した配水管の更新及び耐震化に要する事業費の増加によるものである。

資本的収支の収支不足額 651,419 千円は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんする。

(3) 財政状態（資産・負債）について（別紙：令和 3 年度当初予算書 P11・P12 参照）

【令和 3 年度予定貸借対照表残高】

・総資産	232 億円	・負債＋資本	232 億円
内、固定資産	219 億円	負債	161 億円
内、現金預金等	13 億円	内、長期前受金	74 億円
		資本	71 億円

① 資産の状況

令和 3 年度末の資産総額は 23,276,211 千円で、前年度当初予算比で 85,815 千円の増加（0.4%増）となる。令和 3 年度末の現金預金は 1,080,268 千円で、令和 2 年度決算見込額に対して 28,352 千円の増加（2.7%増）となる見込みである。

② 負債及び資本の状況

負債の部は 16,101,451 千円となり、前年度当初予算比 67,489 千円の減少（0.4%減）となる。

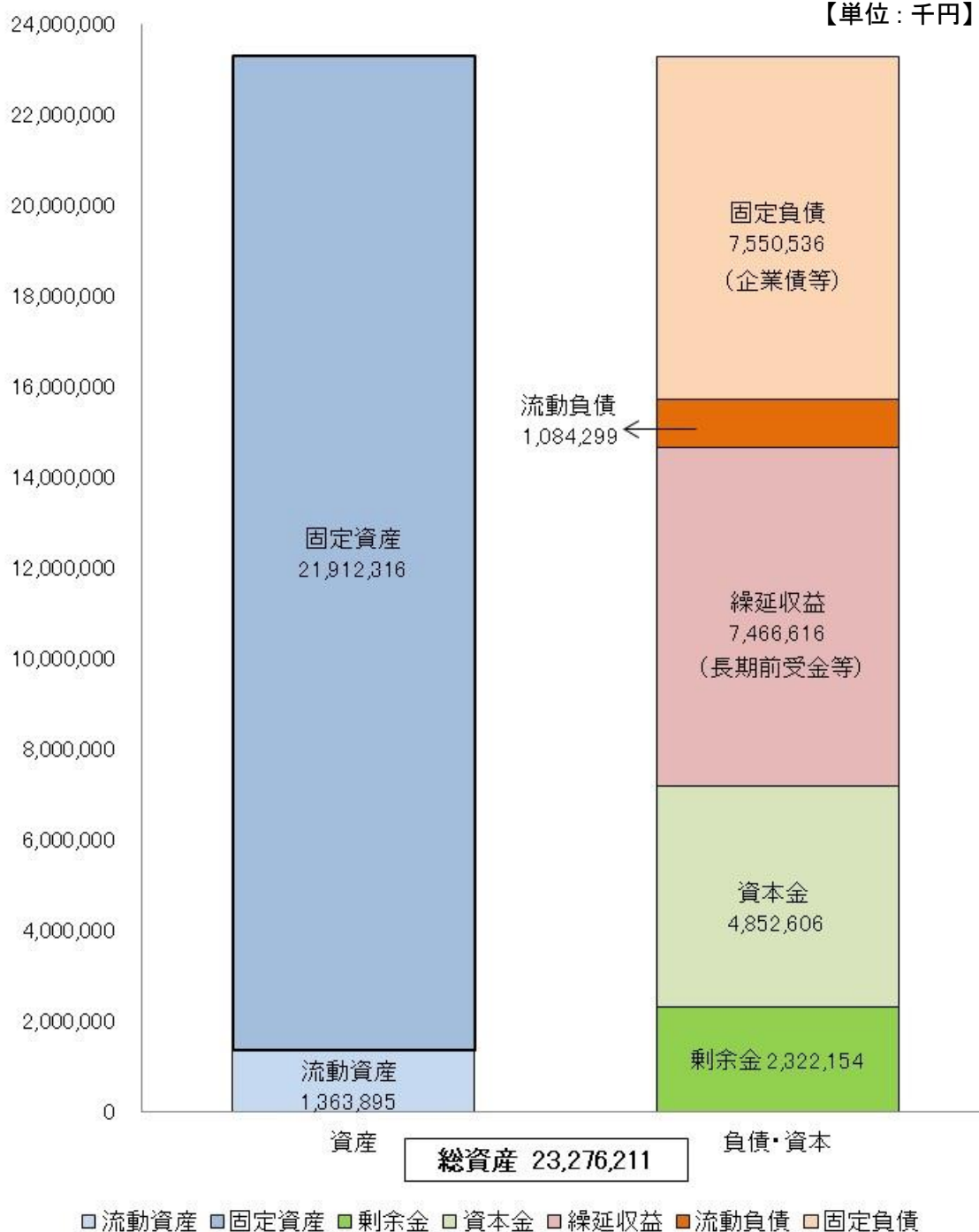
このうち、償却資産の取得に伴い交付される自己財源以外の補助金等を繰延収益として計上している長期前受金は 7,466,616 千円を見込んでいる。

なお、資本の合計は 7,174,760 千円となる。

■財政状態（予定貸借対照表）

令和3年度予定貸借対照表

【単位：千円】



(4) 予定損益計算書について（別紙：令和3年度当初予算書 P13 参照）

【令和3年度予定損益計算書】（税抜）

・営業収益	12億 3,787万円
・営業損失	△3億 9,689万円
・経常利益	8,401万円
・当年度純利益	8,178万円

令和3年度予定損益計算書（税抜）において、給水収益は、前年度当初予算に対し、32,663千円増加（2.8%増）の1,181,300千円を見込んでいる。

営業費用は1,634,767千円で前年度当初予算比58,675千円減（3.5%減）となる。非現金支出である減価償却費が会計上の営業費用として計上されるため、営業収支は396,898千円の赤字を見込んでいる。

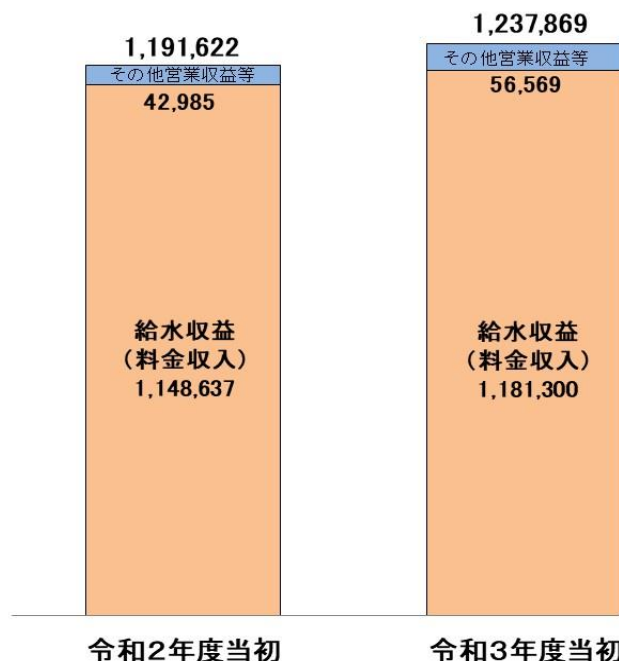
営業外収支は、支払利息、雑支出等の費用を上回る他会計補助金、長期前受金戻入等の収益によって、480,909千円のプラスとなるため、経常利益は84,011千円を見込む。

固定資産売却益等の特別利益、過年度損益修正損等の特別損失のほか予備費を計上することにより、令和3年度の純利益は81,783千円を見込んでいる。

■経営成績（予定損益計算書）

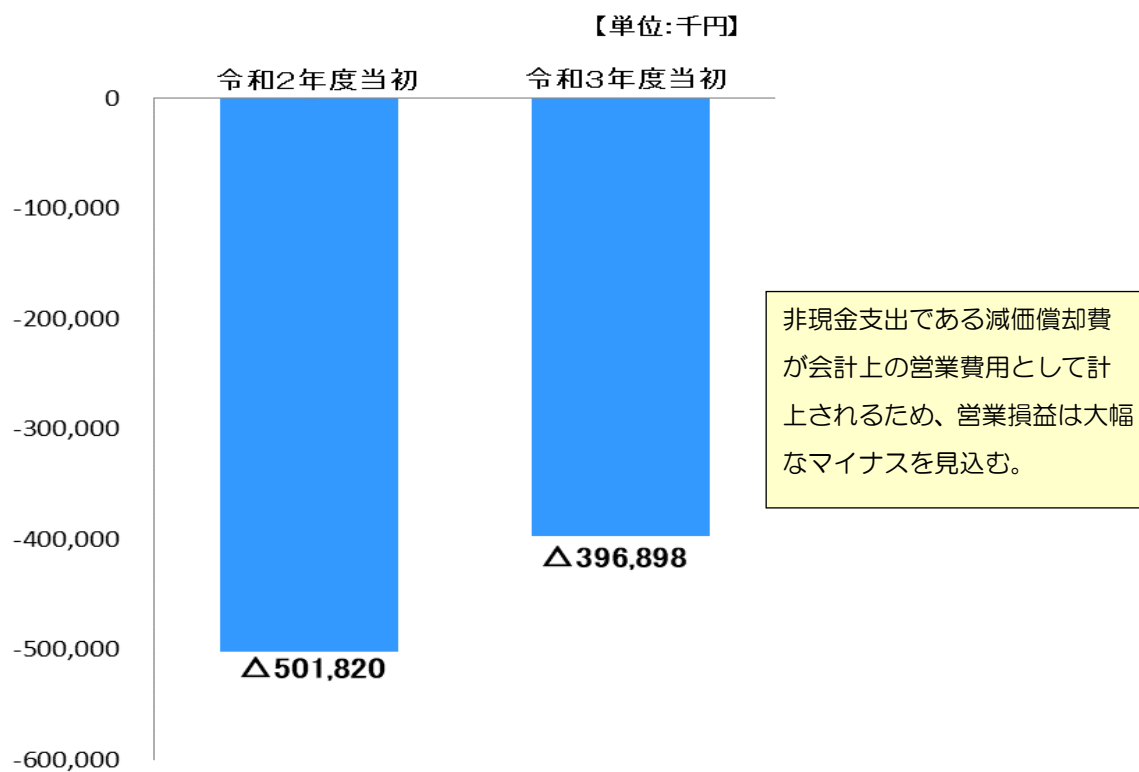
営業収益の比較

【単位：千円】

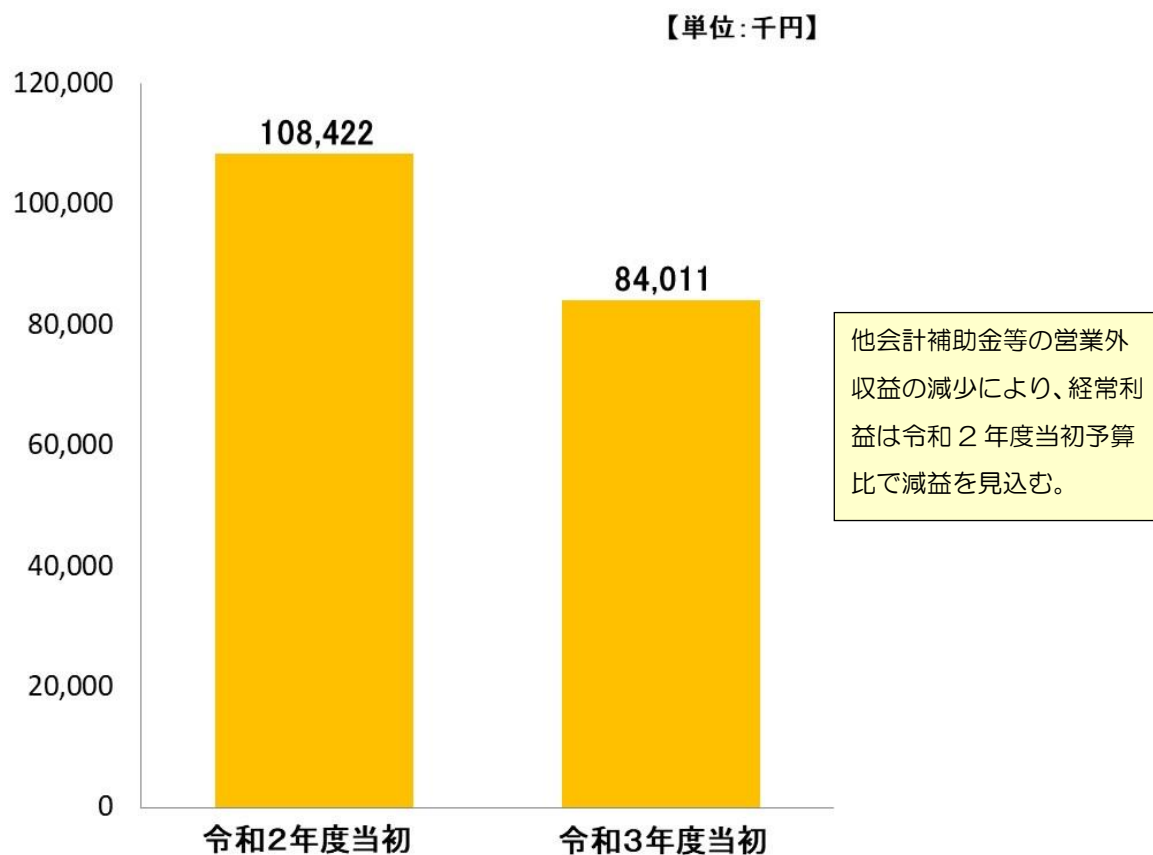


水道料金の段階的改定により、
料金収入は増収を見込む。

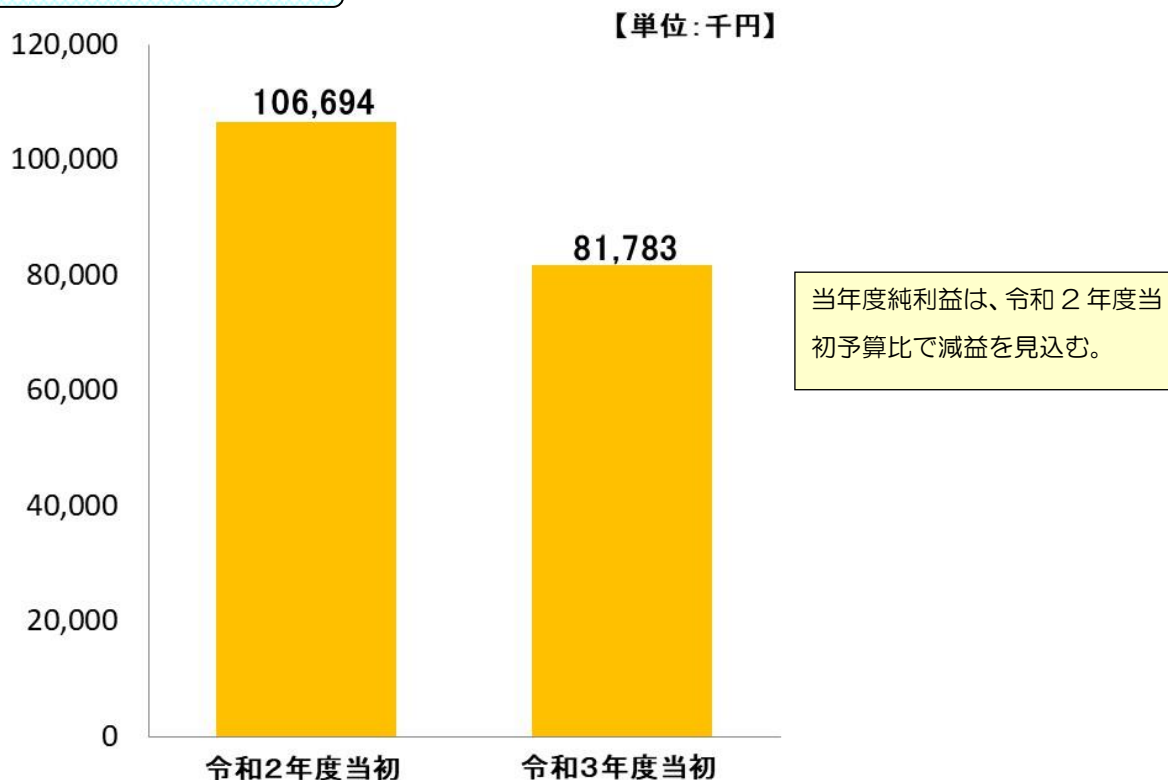
営業損益(△損失)の比較



経常利益の比較



当年度純利益の比較



(5) 予定キャッシュ・フロー（資金状況）について（別紙：令和3年度当初予算書 P15 参照）

令和3年度のキャッシュ・フローの概要は以下のとおりである。

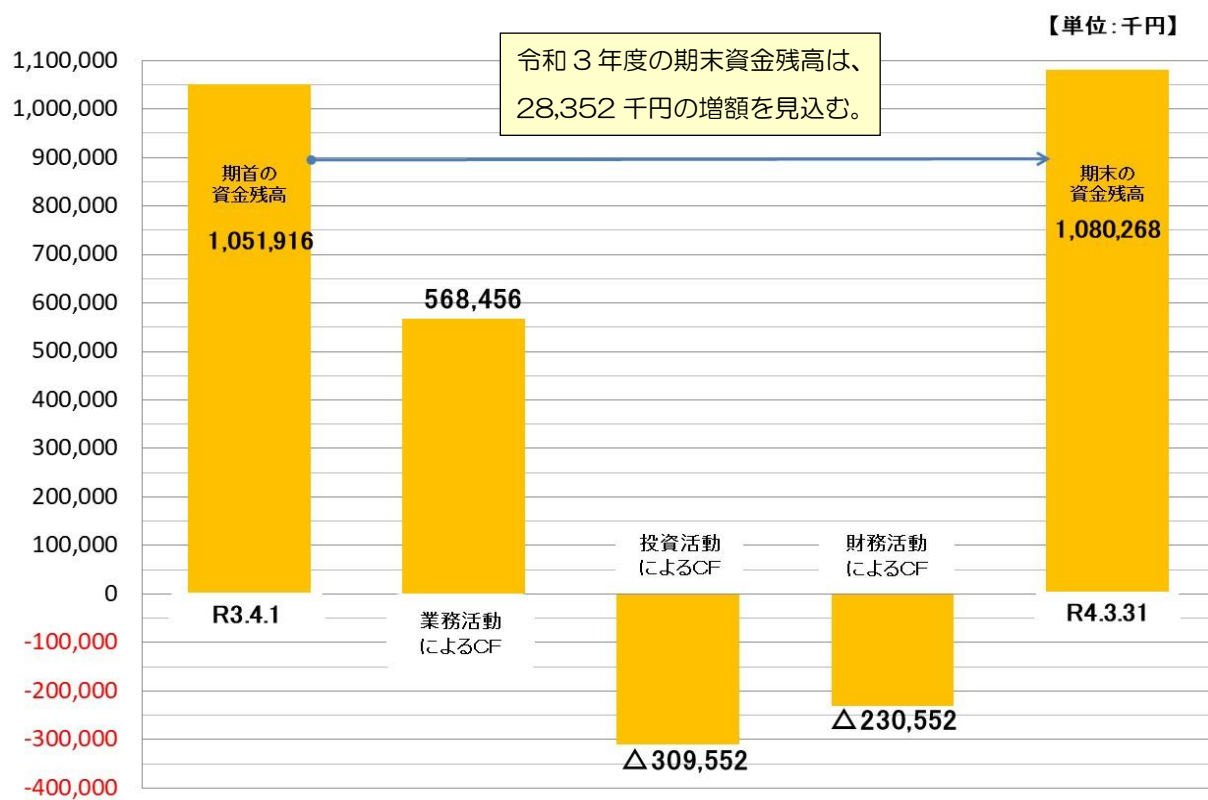
【令和3年度予定キャッシュ・フロー計算書】

・業務活動によるCF	5億 6,845万円
・投資活動によるCF	△3億 955万円
・財務活動によるCF	△2億 3,055万円
・資金増加額	2,835万円
・資金期首残高	10億 5,191万円
・資金期末残高	10億 8,026万円

令和3年度予定キャッシュ・フロー計算書において、業務活動によるキャッシュ・フローは568,456千円の黒字、投資活動によるキャッシュ・フローは309,552千円の赤字、財務活動によるキャッシュ・フローは230,552千円の赤字を見込む。

その結果、令和3年度末の資金残高は、令和2年度決算見込額と比べ28,352千円増加し、1,080,268千円となる見込みである。

令和3年度予定キャッシュ・フロー計算書



3. 主要事業の状況

令和3年度も引き続き、「安全で安心な水道水を安定的に供給すること」を基本原則とし、配水施設整備事業等を実施する。

(1) 業務委託（配水施設費）

- 水道管路更新事業に伴う実施設計業務委託
老朽管の更新に合わせ基幹管路等の耐震化を行うため、水道施設更新計画に沿って実施設計業務を行う。
- 支障移転に伴う実施設計業務委託
国・県・市道改良工事等に伴う支障移転区間について、実施設計を行う。

(2) 改良事業（配水施設費）

- 配水管改良工事
各地区の老朽管や漏水多発路線の配水管を耐震管により改良する。
 - ・ 殿町地区配水管改良工事
 - ・ 小国地区送配水管改良工事 他
- 支障移転関連配水管移設工事
県道浜田八重可部線改良工事、県道三隅井野長浜線改良工事等に伴い、支障となる配水管を移設する。

(3) 管路更新事業

- 重要給水施設配水管耐震事業
重要給水施設に給水するための配水管を耐震管に更新する。（竹迫町・紺屋町 他）
- 水道管路緊急改善事業
市街地の老朽化した基幹管路を更新する。更新に合わせ耐震管に更新する。（元浜町・熱田町 他）

(4) その他の事業

- 災害対応及び漏水防止業務
水道水の安定供給を図るため、遠隔監視システムにより、配水池の夜間最低流量をチェックのうえ、通常水量よりも使用水量が増加した地区の漏水調査を実施する。
布設後40年以上が経過した橋梁添架管について、保温材を取り剥がしたうえで水道管の状態を確認し、状態により錆止め等の補修作業を実施する。

4. 令和2年度予算との比較

【当初予算での比較】

■ 水道事業収益（税込み）

（単位：千円、％）

項	目	令和3年度予算	令和2年度予算	増 減	増 減 率
営業収益		1,358,280	1,308,266	50,014	3.8%
	給水収益	1,299,430	1,263,500	35,930	2.8%
	受託工事収益	100	100	0	0.0%
	その他営業収益	58,750	44,666	14,084	31.5%
営業外収益		654,532	790,463	△ 135,931	-17.2%
	受取利息及び配当金	21	21	0	0.0%
	他会計補助金	231,757	344,373	△ 112,616	-32.7%
	長期前受金戻入	421,617	444,901	△ 23,284	-5.2%
	消費税還付金	3	3	0	0.0%
	雑収益	1,134	1,165	△ 31	-2.7%
特別利益		1,501	2,001	△ 500	-25.0%
	固定資産売却益	1,500	2,000	△ 500	-25.0%
	過年度損益修正益	1	1	0	0.0%
合 計		2,014,313	2,100,730	△ 86,417	-4.1%

■ 水道事業費用（税込み）

（単位：千円、％）

項 目	経費の詳細	令和3年度予算	令和2年度予算	増 減	増 減 率
営業費用		1,681,987	1,744,379	△ 62,392	-3.6%
	人件費	211,485	218,152	△ 6,667	-3.1%
	給料	81,425	84,370	△ 2,945	-3.5%
	手当等（賞与引当金繰入を含む）	79,680	80,425	△ 745	-0.9%
	法定福利費	31,695	32,914	△ 1,219	-3.7%
	報酬（会計年度任用職員 他）	18,685	20,443	△ 1,758	-8.6%
	諸経費	549,849	578,151	△ 28,302	-4.9%
	備消耗品費	6,919	7,733	△ 814	-10.5%
	燃料費	1,736	2,045	△ 309	-15.1%
	委託料	159,506	147,595	11,911	8.1%
	修繕費	171,141	202,508	△ 31,367	-15.5%
	動力費	136,700	147,178	△ 10,478	-7.1%
	薬品費	3,101	3,057	44	1.4%
	材料費	4,080	4,180	△ 100	-2.4%
営業外費用	その他諸経費	66,666	63,855	2,811	4.4%
	減価償却費	900,393	927,816	△ 27,423	-3.0%
	資産減耗費	20,200	20,200	0	0.0%
	その他営業費用	60	60	0	0.0%
特別損失		243,616	255,211	△ 11,595	-4.5%
	支払利息	128,606	142,201	△ 13,595	-9.6%
	雑支出	115,010	113,010	2,000	1.8%
予備費		3,000	3,000	0	0.0%
	過年度損益修正損等	3,000	3,000	0	0.0%
予備費		1,100	1,100	0	0.0%
	予備費	1,100	1,100	0	0.0%
合 計		1,929,703	2,003,690	△ 73,987	-3.7%

5. 収支の状況

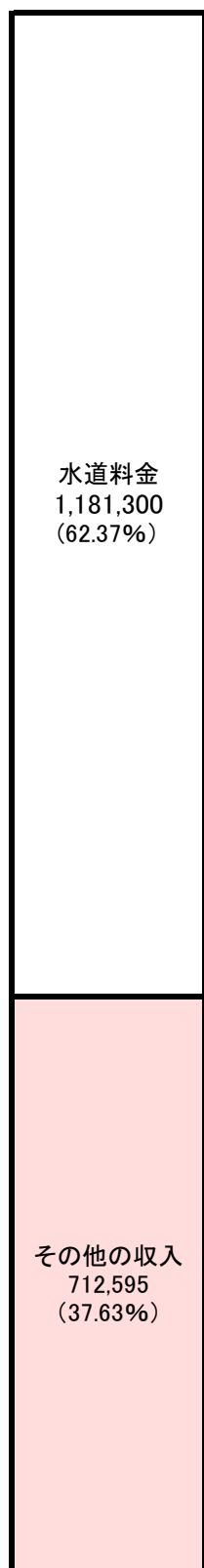
◆収益的収支

(事業、施設の管理に関する収支)

単位：千円（税抜き）

収入 1,893,895

支出 1,812,112



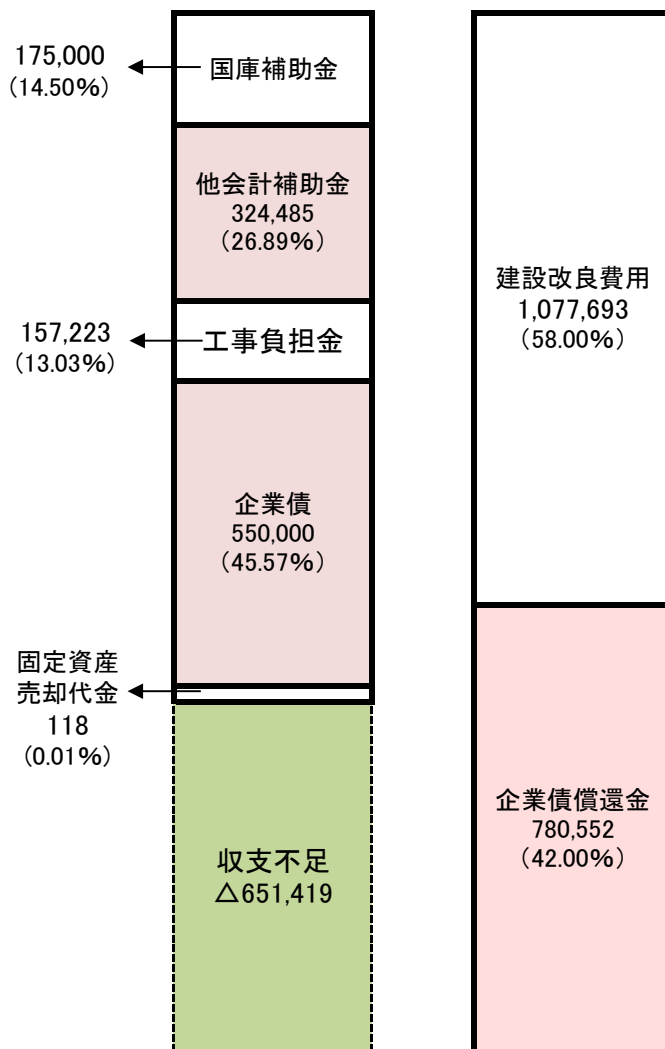
◆資本的収支

(施設の建設・改良などに関する収支)

単位：千円（税込み）

収入 1,206,826

支出 1,858,245



【収益的収支】

収入1,893,895千円、支出1,812,112千円のため、当年度純利益は81,783千円となる。

その他の支出は、営業外費用の雑支出45,010千円、特別損失2,729千円、予備費1,000千円の合計としている。

【資本的収支】

収入1,206,826千円、支出1,858,245千円のため、651,419千円の収支不足が発生するが、この不足分については、減価償却費等の現金支出を伴わない費用などの内部留保資金で補てんする。

※構成比は、四捨五入のため一致しない場合があります。

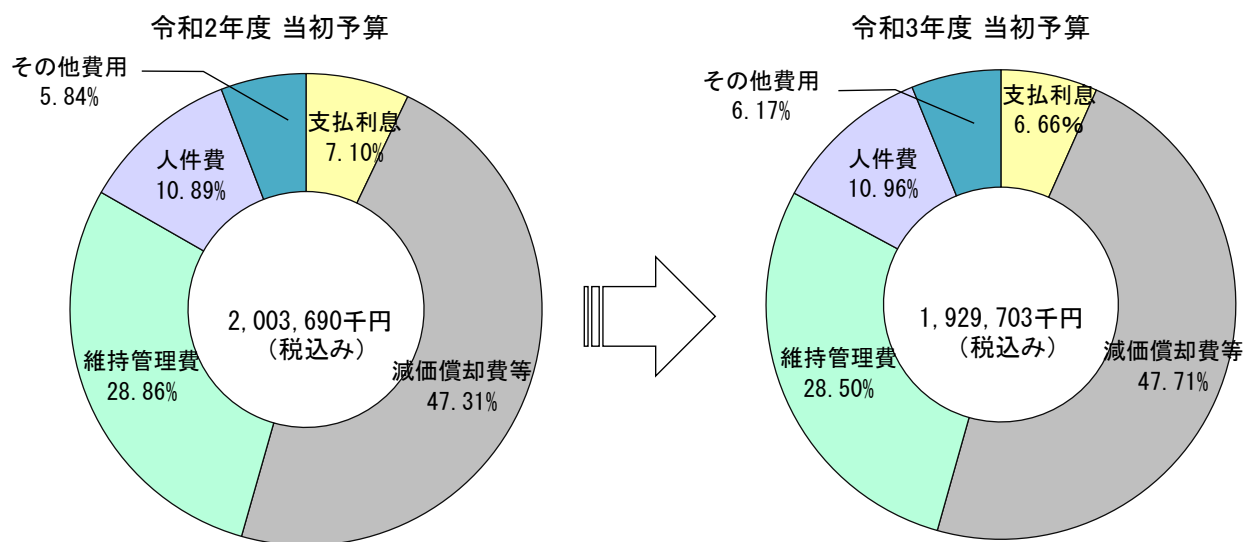
6. 水道事業費用の構成

令和3年度の水道事業費用は、前年度当初予算と比べ73,987千円の減少(税込み)を見込んでいる。

構成の内訳としては、人件費の割合は、10.96%で前年度比で0.07ポイント増加する。支払利息の割合は、6.66%で前年度比で0.44ポイント減少する。

また、減価償却費等の割合は、47.71%で前年度比で0.40ポイント増加し、維持管理費の割合は28.50%で0.36ポイント減少する見込みである。

その他費用の割合は、6.17%で前年度比で0.33ポイント増加を見込んでいる。



※構成比は、四捨五入のため一致しない場合があります。

7. 上水道事業職員数の推移

平成18年8月に「上水道事業経営改善計画」(平成20年度改正)を策定し、退職者不補充や正規職員の嘱託職員化及び業務委託や組織の統合等により、職員数を大幅に削減し人件費の抑制を図っている。平成18年度の31名の職員数は、平成29年度には、17名まで減少しており、約4割(14名)の職員の減少となっている。

平成30年度には、会計統合に伴い簡易水道事業会計支弁職員が加わり23名となり、令和元年度以降も同数で推移している。

上水道事業職員数の推移

(単位:人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年度末職員数	22	22	21	20	19	19	18	17	23	23	23	23
増減	0	0	△ 1	△ 1	△ 1	0	△ 1	△ 1	6	0	0	0

8. 収支の概要

1. 収益的収入

2,014,313千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	収入項目及び収入概要	収入予定額 (前年度)
	営業収益	1,358,280
1	給水収益 水道料金収入	1,299,430 (1,263,500)
2	受託工事収益 受託工事による収入	100 (100)
3	その他営業収益 給水収益、受託工事収益以外で通常発生する収益 ○手数料 ○負担金 ○加入金 ○補償金 他	58,750 (44,666)
	営業外収益	654,532
4	受取利息及び配当金 預金利息等	21 (21)
5	他会計補助金 一般会計補助金 ○上水道事業にかかる起債償還利息分 17,644千円 ○簡易水道事業にかかる起債償還利息分 32,429千円 ○水道企業職員児童手当分 2,000千円 ○未普及地域設備維持管理費分 11,500千円 ○高料金対策に要する経費分 168,184千円	231,757 (344,373)
6	長期前受金戻入 減価償却費に見合う財源の収益化額 【財源の内訳】 ○国県補助金 139,081千円 ○他会計補助金 185,820千円 ○工事負担金 80,951千円 ○受贈財産評価額 15,752千円 ○その他長期前受金 13千円	421,617 (444,901)
7	消費税及び地方消費税還付金 消費税還付金	3 (3)
8	雑収益 不用品の売却代金 営業外で発生する雑収益 ○土地貸付料、コピー代 他	1,134 (1,165)
	特別利益	1,501
9	固定資産売却益 固定資産売却による差益	1,500 (2,000)
10	過年度損益修正益 前年度以前の損益の修正で利益の性質を有するもの	1 (1)
	水道事業収益合計	2,014,313

2. 収益的支出

1,929,703千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	支出予定額 (前年度)
	営業費用	1,681,987
1	原水及び浄水費 取水、浄水送水施設の維持及び作業に要する費用 ○職員給与費 9人 (内、会計年度任用職員 7人) ○動力費 ○水質検査委託料 ○施設維持修繕費 他	194,604 (208,761)
2	配水及び給水費 配水施設、量水器の維持及び作業に要する費用 ○職員給与費 7人 ○動力費 ○施設維持修繕費 ○給水管切替工事費 ○支障移転工事費 他	361,046 (382,957)
3	受託工事費 受託工事に要する費用	100 (160)
4	業務費 検針、料金調定及び集金その他に要する費用 ○職員給与費 8人 (内、会計年度任用職員 4人) ○金融機関取扱手数料 ○検針業務委託料 他	88,542 (85,608)
5	総係費 事業活動の全般に要する費用 ○職員給与費 6人 ○退職手当組合負担金 ○退職給付費 ○業務委託料 他	117,042 (118,817)
6	減価償却費 固定資産の減価償却に要する費用 ○上水道事業分 477,439千円 ○簡易水道事業分 422,954千円	900,393 (927,816)
7	資産減耗費 資産の減耗に要する費用	20,200 (20,200)
8	その他営業費用 その他営業活動に要する費用	60 (60)
	営業外費用	243,616
9	支払利息及び企業債取扱諸費 企業債利息 ○上水道事業にかかる起債利息分 63,607千円 ○簡易水道事業にかかる起債利息分 64,999千円	128,606 (142,201)
10	雑支出 上記以外の営業外費用 控除対象外消費税 他	45,010 (38,010)
11	消費税及び地方消費税 納付消費税	70,000 (75,000)
	特別損失	3,000
12	過年度損益修正損 前年度以前の損益の修正で損失の性質を有するもの	3,000 (3,000)
	予備費	1,100
13	予備費 予備費	1,100 (1,100)
	水道事業費用合計	1,929,703

3. 資本的收入

1,206,826千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	収入項目及び収入概要	収入予定額 (前年度)
	国庫補助金	175,000
1	国庫補助金 水道施設耐震化事業国庫補助金 ○重要給水施設配水管耐震事業分 75,000千円 ○水道管路緊急改善事業分 100,000千円	175,000 (145,833)
	他会計補助金	324,485
2	他会計補助金 一般会計補助金 ○上水道事業にかかる起債償還分 80,309千円 ○簡易水道事業にかかる起債償還分 242,176千円 ○未普及地域施設更新分 2,000千円	324,485 (321,745)
	工事負担金	157,223
3	工事負担金 ○配水施設整備工事負担金 ○消火栓新設工事負担金	157,223 (230,516)
	企業債	550,000
4	企業債 建設改良事業に充てるための企業債 ○重要給水施設配水管耐震事業分 225,000千円 ○水道管路緊急改善事業分 200,000千円 ○配水管等改良事業分 125,000千円	550,000 (434,100)
	固定資産売却代金	118
5	固定資産売却代金 固定資産売却代金	118 (118)
	資本的收入合計	1,206,826

※資本的收入額が資本的支出額に対し不足する額651,419千円は、当年度分消費税等資本的収支調整額94,615千円、当年度分損益勘定留保資金498,976千円、未処分利益剰余金57,828千円で補てんする。

4. 資本的支出

1,858,245千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	支出予定額 (前年度)
	建設改良費	1,077,693
1	資産購入費 資産購入費 ○出庫量水器、工具器具及び備品 他	16,020 (6,166)
2	改良費 配水施設の改良等に要する費用 ○消火栓新設工事費	9,478 (27,080)
3	配水施設費 配水施設の改良等に要する費用 ○職員給与費 6人（内、会計年度任用職員 2人） ○管路更新事業 ・重要給水施設配水管耐震事業 ・水道管路緊急改善事業 ・配水管等改良事業（単独分） ○支障移転工事 ・国関係 国道関連 ・県関係 県道関連 ・市関係 市道、下水道関連	1,052,195 (985,699)
	企業債償還金	780,552
4	企業債償還金 企業債償還元金 ○上水道事業にかかる起債償還元金 289,782千円 ○簡易水道事業にかかる起債償還元金 490,770千円	780,552 (774,382)
	資本的支出合計	1,858,245

令和3年3月 浜田市議会定例会議

令和3年度

浜田市工業用水道事業会計当初予算説明資料



浜田市工業用水道事業 第1水源地

浜田市 上下水道部

1. 令和3年度の予算編成の基本方針について

浜田市工業用水道事業は、企業への安定給水を行うことを第一に、継続した健全経営を行うため、計画的かつ効率的な事業運営を目指し予算編成を行う。

また、中国電力(株)三隅発電所2号機が令和4年11月から運転を開始するのに伴い、工業用水道の給水量が、これまでの5,200m³/日から9,500m³/日に段階的に増加することが見込まれる。これに伴う給水収益の増加に対応するため、令和2年10月から令和7年3月までを算定期間として、給水単価を48円/m³から29円/m³へ減額改定した。

工業用水道の安定供給のため、中央監視装置による各施設の警報監視や巡回点検を行うとともに、今年度における改良事業として、取水井水位計及び取水流量計等、施設の老朽化に伴う更新工事を実施する。

2. 令和3年度の予算編成概要について

(1) 収益的収入及び支出

収入の給水収益は、給水予定量で見込んでいる。対前年度予算比で17,171千円の減額となっているのは、令和2年10月に行った料金の減額改定によるものである。

営業外収益は、対前年度予算比で247千円の増額となっている。これは、長期前受金戻入250千円の増額が要因である。

収益的支出は、総額で109,144千円で対前年度比2,327千円の減額を見込んでいる。減額の主な要因は、消費税及び地方消費税の減額である。

予定キャッシュ・フロー計算書において、業務活動によるキャッシュ・フローは、14,572千円の赤字、投資活動によるキャッシュ・フローは、1,479千円の赤字、財務活動によるキャッシュ・フローは、4,623千円の赤字となり、令和3年度予算の資金の減少額は、20,674千円と見込んでいる。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入における工事負担金については、取水井水位計及び取水流量計の更新工事に伴う企業からの負担金となっている。

支出については、工業用水道の安定供給を目的として、取水流量計等の更新工事等をするものである。

また、資本的収支差額の不足額については、全て内部留保資金を補てん財源として充てる。

3. 令和2年度予算と令和3年度予算との比較

(1) 業務の予定量

項 目	3年度予算	2年度予算	増減	増減率
給 水 件 数 (件)	3	3	0	0.0%
年 間 総 給 水 量 (千m ³)	2,072	1,989	83	4.2%
一 日 平 均 給 水 量 (m ³)	5,678	5,450	228	4.2%

(2) 収益的収入及び支出

(単位：千円、税込み)

款	項	3年度予算	2年度予算	増減	増減率
工業用水道事業収益		94,642	111,566	△16,924	△15.2%
	営 業 収 益	66,166	83,337	△17,171	△20.6%
	営 業 外 収 益	28,476	28,229	247	0.9%
工業用水道事業費用		109,144	111,471	△2,327	△2.1%
	営 業 費 用	106,635	105,522	1,113	1.1%
	営 業 外 費 用	2,409	5,849	△3,440	△58.8%
	予 備 費	100	100	0	0.0%

(3) 資本的収入及び支出

(単位：千円、税込み)

款	項	3年度予算	2年度予算	増減	増減率
資 本 的 収 入		4,742	4,984	△242	△4.9%
	工 事 負 担 金	4,742	4,984	△242	△4.9%
資 本 的 支 出		10,992	18,425	△7,433	△40.3%
	建 設 改 良 費	6,369	7,739	△1,370	△17.7%
	企 業 債 償 還 金	4,623	10,686	△6,063	△56.7%

(4) 予算実施計画

収益的收入及び支出

収 入 (単位：千円、税込み)							
款	項	目	3年度予算額	2年度予算額	増減額	増減率	備 考
1. 工業用水道事業収益			94,642	111,566	△16,924	△15.2%	
	(1) 営業収益		66,166	83,337	△17,171	△20.6%	
		1. 給水収益	66,166	83,337	△17,171	△20.6%	工業用水道料金
	(2) 営業外収益		28,476	28,229	247	0.9%	
		1. 受取利息及び配当金	213	194	19	9.8%	預金利息
		2. 他会計補助金	255	278	△23	△8.3%	一般会計補助金
		3. 長期前受金戻入	27,928	27,678	250	0.9%	減価償却費に見合う財源の収益化
		4. 雑収益	80	79	1	1.3%	行政財産使用料

支 出 (単位：千円、税込み)							
款	項	目	3年度予算額	2年度予算額	増減額	増減率	備 考
1. 工業用水道事業費用			109,144	111,471	△2,327	△2.1%	
	(1) 営業費用		106,635	105,522	1,113	1.1%	
		1. 原水及び浄水費	35,641	35,539	102	0.3%	原水の取入れ並びに設備の維持及び作業に要する費用
		2. 配水及び給水費	1,470	870	600	69.0%	配水池、配水管等配水に係る設備、その他の設備の維持及び作業に要する費用
		3. 総係費	31,919	31,652	267	0.8%	事業活動の全般に要する費用
		4. 減価償却費	37,605	37,366	239	0.6%	固定資産減価償却費用
		5. 資産減耗費	0	95	△95	△100.0%	固定資産除却費用
	(2) 営業外費用		2,409	5,849	△3,440	△58.8%	
		1. 支払利息及び企業債取扱諸費	430	748	△318	△42.5%	企業債利息及び借入金利息
		2. 消費税及び地方消費税	1,978	5,100	△3,122	△61.2%	
		3. 雑支出	1	1	0	0.0%	
	(3) 予備費		100	100	0	0.0%	
		1. 予備費	100	100	0	0.0%	

資本的收入及び支出

収 入 (単位：千円、税込み)							
款	項	目	3年度予算額	2年度予算額	増減額	増減率	備 考
1. 資本的收入			4,742	4,984	△242	△4.9%	
	(1) 工事負担金		4,742	4,984	△242	△4.9%	
		1. 工事負担金	4,742	4,984	△242	△4.9%	取水流量計等更新工事に伴う工事負担金

支 出 (単位：千円、税込み)							
款	項	目	3年度予算額	2年度予算額	増減額	増減率	備 考
1. 資本的支出			10,992	18,425	△7,433	△40.3%	
	(1) 建設改良費		6,369	7,739	△1,370	△17.7%	
		1. 改良費	6,369	7,739	△1,370	△17.7%	取水流量計更新工事等
	(2) 企業債償還金		4,623	10,686	△6,063	△56.7%	
		1. 企業債償還金	4,623	10,686	△6,063	△56.7%	

4. 収支の状況

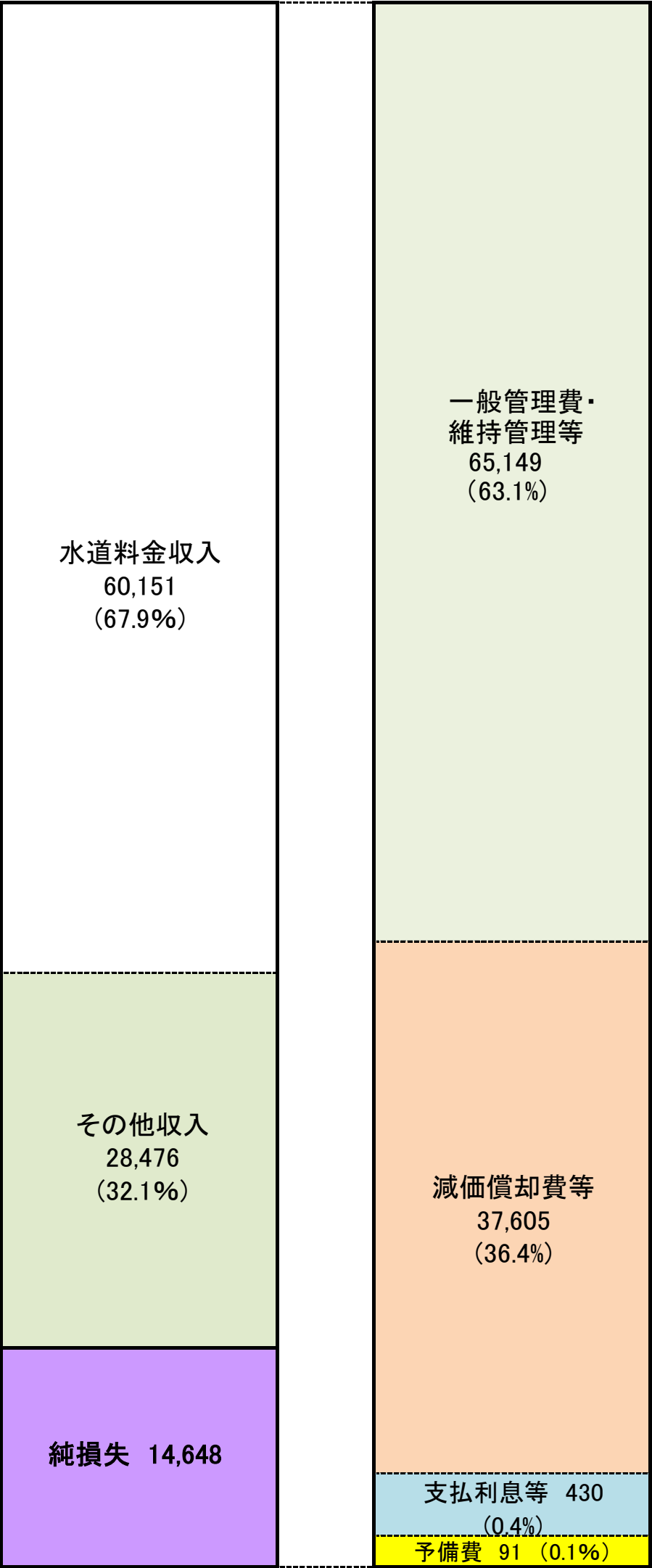
■収益的収支

(事業の管理・運営に関する収入支出)

単位:千円(税抜き)

収入 88,627

支出103,275



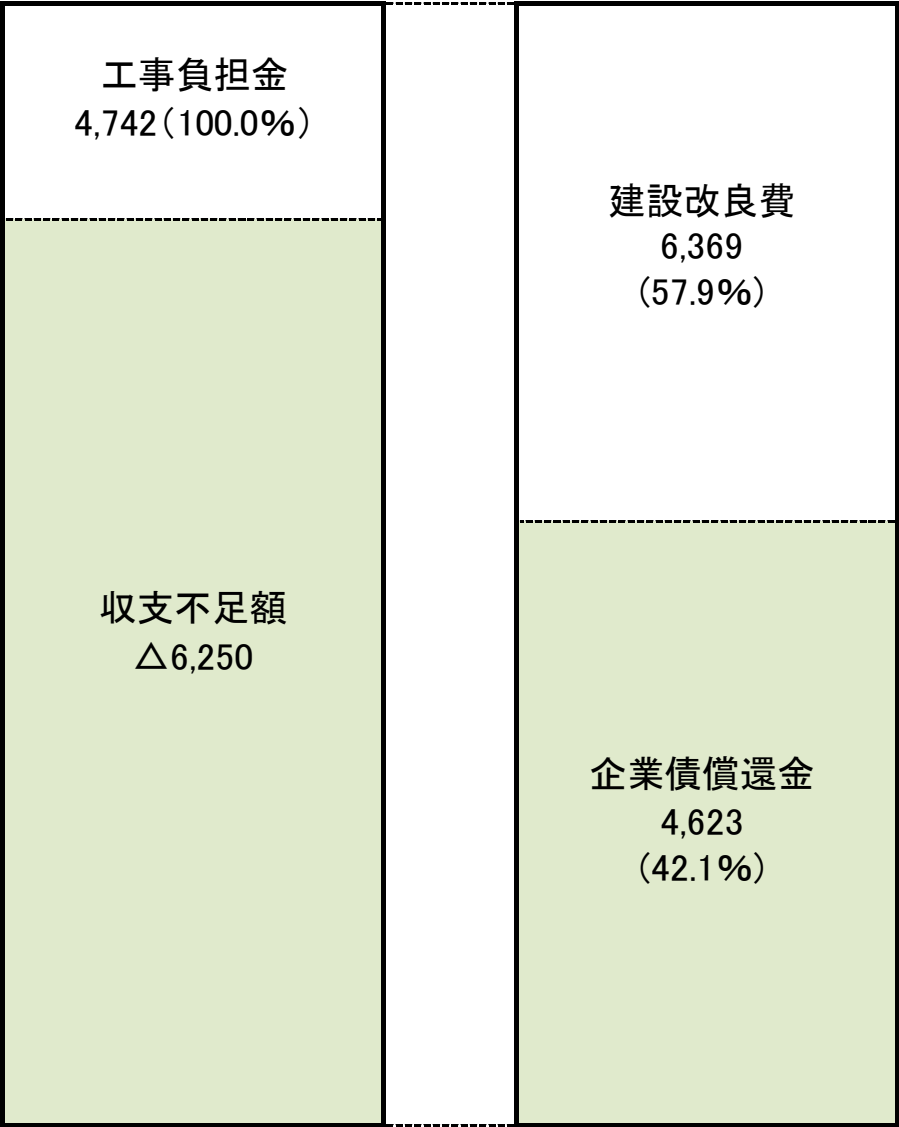
■資本的収支

(企業債償還・施設の建設・改良などに関する収入支出)

単位:千円(税込み)

収入 4,742

支出 10,992



【資本的収支】

- ・収入4,742千円、支出10,992千円で、6,250千円の収支不足が発生しますが、この不足分については、減価償却費等の現金支出を伴わない費用などの内部留保資金で補てんします。

【収益的収支】

- ・収入88,627千円、支出103,275千円のため、当年度純損失は、14,648千円となります。

5. 収支の概要

1. 収益的收入 94,642千円

(単位: 千円、税込み)

整理 番号	収入項目及び収入概要	収入予定額 (前年度)
	営業収益	66,166 (83,337)
1	給水収益 水道使用料 ○給水先 3件 1日当り給水予定量 5,678m ³	66,166 (83,337)
	営業外収益	28,476 (28,229)
2	受取利息及び配当金 預金利息	213 (194)
3	他会計補助金 一般会計補助金 ○企業債利息分及び減価償却費分	255 (278)
4	長期前受金戻入 減価償却費に見合う財源の収益化	27,928 (27,678)
5	雑収益 雑収益 ○行政財産使用料 ほか	80 (79)
	工業用水道事業収益合計	94,642 (111,566)

2. 収益的支出 109,144千円

(単位:千円、税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	支出予定額 (前年度)
	営業費用	106,635 (105,522)
1	原水及び浄水費 原水の取入れ並びに設備の維持及び作業に要する費用 ○委託料 ○動力費 ほか	35,641 (35,539)
2	配水及び給水費 配水池、配水管等配水に係る設備、その他の設備の維持 及び作業に要する費用 ○修繕費 ○動力費 ほか	1,470 (870)
3	総係費 事業活動の全般に要する費用 ○職員給与費 3名(内、会計年度任用職員1人)	31,919 (31,652)
4	減価償却費 固定資産減価償却費用	37,605 (37,366)
5	資産減耗費 固定資産除却費用	0 (95)
	営業外費用	2,409 (5,849)
6	支払利息及び企業債取扱諸費 企業債利息及び借入金利息	430 (748)
7	消費税及び地方消費税 消費税及び地方消費税	1,978 (5,100)
8	雑支出 雑支出	1 (1)
	予備費	100 (100)
9	予備費 予備費	100 (100)
	工業用水道事業費用合計	109,144 (111,471)

3. 資本的収入 4,742千円

(単位:千円、税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	収入予定額 (前年度)
1	工事負担金 取水流量計等更新工事に伴う企業からの工事負担金	4,742 (4,984)
	資本的収入合計	4,742 (4,984)

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 6,250千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額148千円、過年度分損益勘定留保資金1,479千円、減債積立金4,623千円で補てんするものとする。

4. 資本的支出 10,992千円

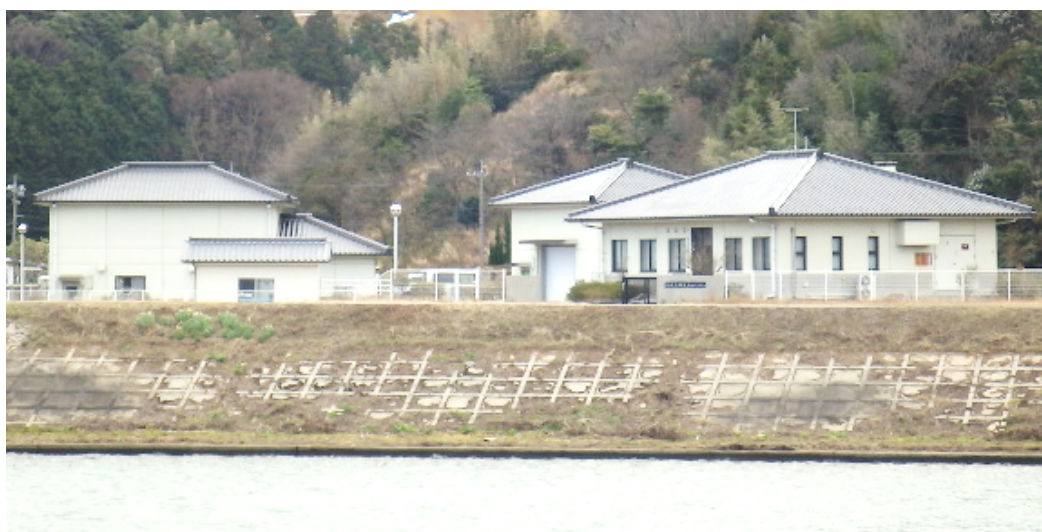
(単位:千円、税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	支出予定額 (前年度)
	建設改良費	6,369 (7,739)
1	改良費 施設の改良等に要する費用 ○取水流量計更新工事等	6,369 (7,739)
	企業債償還金	4,623 (10,686)
2	企業債償還金 企業債償還金	4,623 (10,686)
	資本的支出合計	10,992 (18,425)

令和3年3月 浜田市議会定例会議

令和3年度

浜田市公共下水道事業会計当初予算説明資料



【三保三隅浄化センター】

浜田市上下水道部

目 次

令和3年度 浜田市公共下水道事業会計当初予算説明資料

1. 令和3年度予算編成の基本方針	1
2. 令和3年度予算の編成概要	1
3. 主要事業の状況	9
4. 令和2年度予算との比較	10
5. 収支の状況	11
6. 公共下水道事業費用の構成	12
7. 公共下水道事業職員数	12
8. 収支の概要	13

1 令和3年度予算編成の基本方針

浜田市公共下水道事業は令和2年度に地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計に移行した。

令和3年度予算編成においては、中国電力(株)三隅発電所2号機の建設工事関係者の増加及び地方地区農業集落排水施設の公共下水道への統合による汚水処理量の増加を見込み、下水道使用料の増加を見込むが、人口減少による下水道使用料の減収を見据え、経費節減に努め持続可能な下水道事業経営を目指す。

また、浜田処理区整備事業、三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業、ストックマネジメント計画に基づく改築事業を予算計上し、経営基盤の強化、適切な維持管理による安定した事業の推進を目指す。

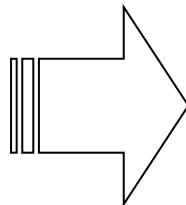
(令和3年度予算編成 基本方針)

1) 整備事業の実施による
経営基盤の強化の推進

2) 計画的な改築事業の実施

3) 適切な維持管理による
安定した事業の推進

4) 経費節減による経営健全化
の推進



『持続可能な下水道事業経営』

2 令和3年度予算の編成概要

令和3年度予算は、次の点に留意して編成を行った。

1. 主な留意項目等

(1) 下水道使用料収入の見込みについて

人口減少の影響による下水道使用料の減収を見込むが、令和3年度においては、中国電力

㈱三隅発電所 2 号機の建設工事関係者の増加及び地方地区農業集落排水施設の公共下水道への統合による汚水処理量の増加を見込み予算編成を行う。

(2) 維持管理費等の経費の積算について

維持管理費等の諸経費については、いずれの処理区も供用開始後 15 年以上が経過し、修繕にかかる経費が多くなっている。また、地方地区農業集落排水施設の公共下水道への統合に伴う経費の増を予算に計上する。

前年度実績をベースに増減要因を反映させ、予算編成を行う。

(3) 建設改良事業について

建設改良事業については、市街地(浜田処理区)への下水道整備事業の予算を計上する。

また、安定した下水道事業を行っていくため、老朽化した設備に対し計画的に改築、更新を行う予算を計上する。

三保三隅処理区においては、福浦地区漁業集落排水施設を統合することにより、より効率的な汚水処理を行うため統合事業として予算を計上する。

2. 予算数値の概要

(1) 収益的収支(税込み)について(予算説明資料 P13・P14 参照)

収入の基盤となる下水道使用料は、中国電力㈱三隅発電所 2 号機建設工事及び地方地区農業集落排水施設の公共下水道への統合による汚水処理量の増加を見込み 113,325 千円(税込)とし、前年度当初予算と比べて、20,949 千円の増収(22.7%増)を見込む。

営業外収益も含めた総収益は、583,282 千円(税込)とし、前年度当初予算と比べて、59,261 千円の増収(11.3%増)を見込む。

下水道使用料以外の主な収益としては、一般会計からの補助金(減価償却費及び資産減耗費にかかる補助分、運営に対する補助分)、非現金収入としての長期前受金戻入(減価償却費に見合う財源の収益化)等がある。

費用の総額は 582,901 千円(税込)とし、前年度当初予算と比べて、57,192 千円の増加額(10.9%増)を計上している。費用の主な増加要因としては、地方地区農業集落排水施設の公共下水道への統合による維持管理費の増加等が挙げられる。

(2) 資本的収支(税込み)について(予算説明資料 P15・P16 参照)

資本的収支は、収入総額 518,821 千円(税込)とし、前年度当初予算と比べて、18,599 千円の増加(3.7%増)を見込む。これは、道路工事に伴う下水道管の支障移転に対する移転補償金としての工事負担金の増加や一般会計からの出資金の増加によるものである。

支出総額は 744,513 千円(税込)とし、前年度当初予算と比べて、81,111 千円の増加(12.2%増)を見込む。これは、浜田処理区整備事業、三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業、旭浄化センター汚泥処理施設改築事業、道路改良事業に

伴う支障移転事業に要する事業費の増加や地方地区農業集落排水施設の公共下水道への統合による企業債償還元金の増加によるものである。

資本的収支不足額 225,692 千円は、当年度分損益勘定留保資金で補てんする。

(3) 財政状態（資産・負債・資本）について（別紙：令和 3 年度当初予算書 P11・P12 参照）

【令和 3 年度予定貸借対照表残高】

・総資産	80.5 億円	・負債＋資本	80.5 億円
内、固定資産	80.2 億円	負債	73.3 億円
内、未収金等	0.3 億円	内、長期前受金	33.1 億円
		資本	7.2 億円

① 資産の状況

令和 3 年度末の資産総額は 8,053,033 千円で、前年度当初予算比で、595,137 千円の増加（8.0%増）となる。令和 3 年度末の現金預金は 3,045 千円で、令和 2 年度決算見込額に対して 2,919 千円の増加となる見込みである。

② 負債及び資本の状況

負債の部は 7,329,191 千円となり、前年度当初予算比で、349,533 千円の増加（5.0%増）となる。

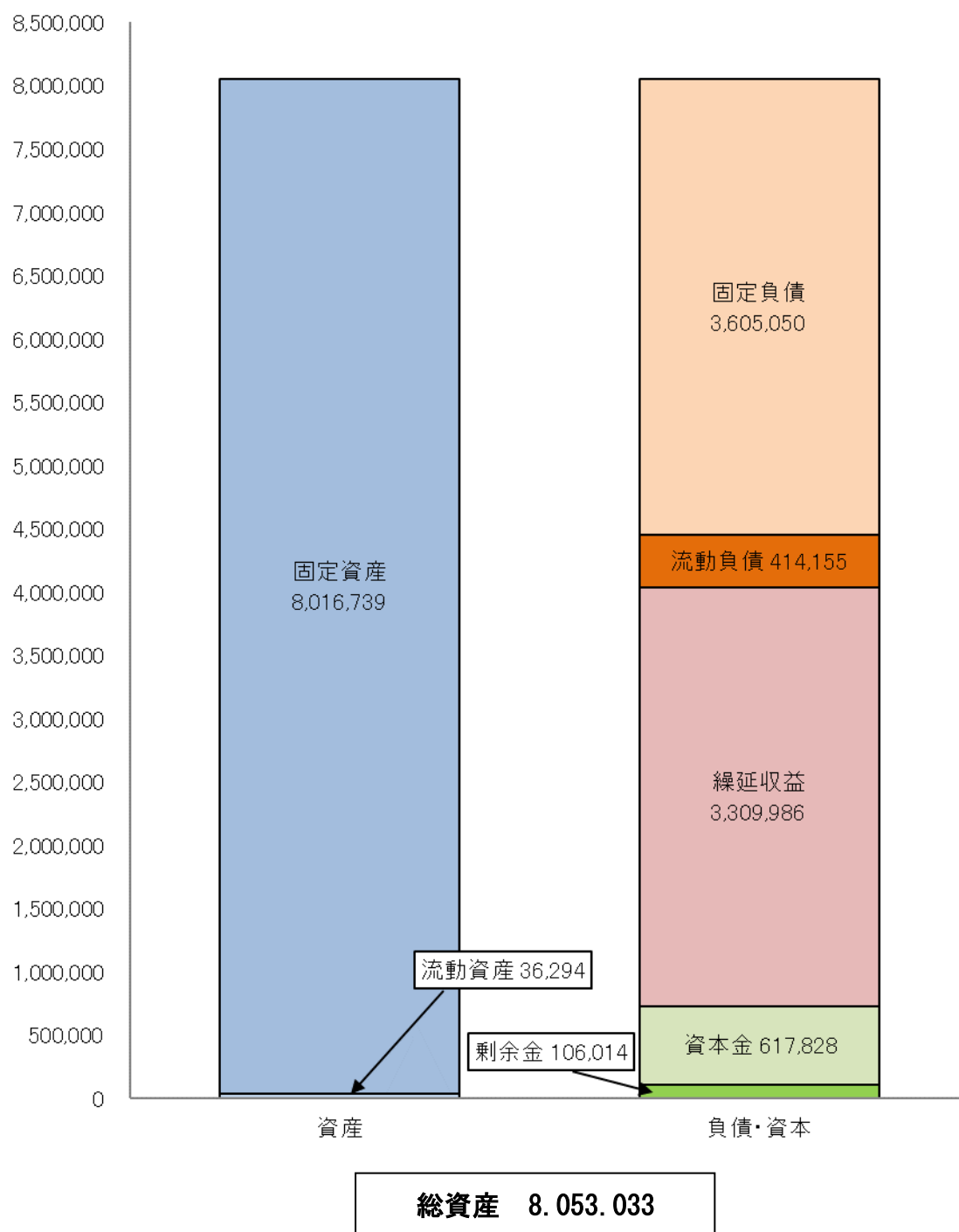
このうち、償却資産の取得に伴い交付される自己財源以外の補助金等を繰延収益として計上している長期前受金は 3,309,986 千円を見込んでいる。

なお、資本の合計は 723,842 千円となる。

■財政状態（予定貸借対照表）

令和3年度予定貸借対照表
(令和4年3月31日)

【単位：千円】



(4) 予定損益計算書について（別紙：令和3年度当初予算書 P13 参照）

【令和3年度予定損益計算書】（税抜）

・営業収益	103,855 千円
・営業損失	△407,020 千円
・経常利益	△1,637 千円
・当年度純利益	95 千円

令和3年度予定損益計算書（税抜）において、下水道使用料収入は、103,026 千円を見込んでいる。

営業費用は 510,875 千円となる。非現金支出である減価償却費が会計上の営業費用として計上されるため、営業収支は 407,020 千円の赤字を見込んでいる。

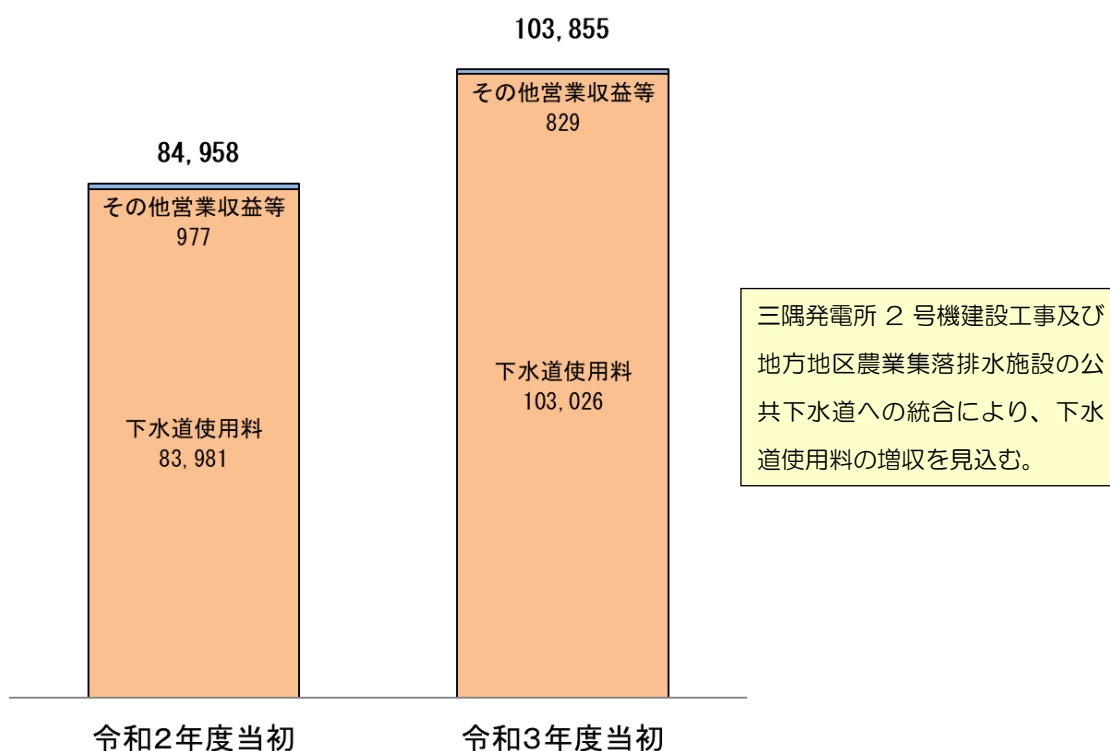
営業外収支は、支払利息、雑支出等の費用を上回る他会計補助金、長期前受金戻入等の収益によって、405,383 千円のプラスとなるが、経常利益は 1,637 千円の赤字を見込む。

過年度損益修正益の特別利益、過年度損益修正損の特別損失のほか予備費を計上することにより、令和3年度の純利益は 95 千円を見込んでいる。

■経営成績（予定損益計算書）

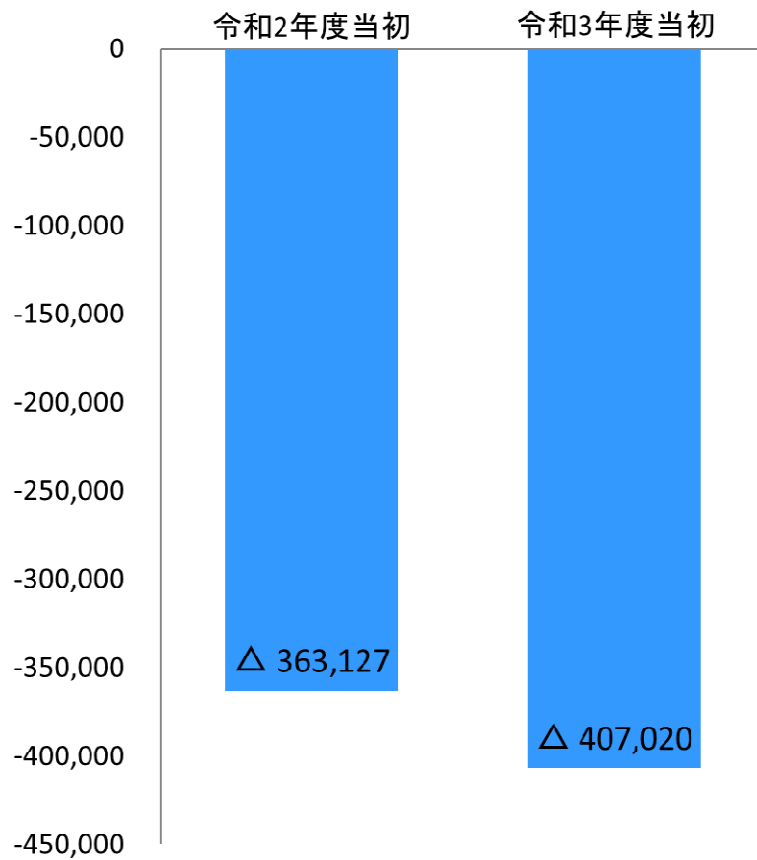
営業収益の比較

【単位：千円】



営業損益（△損失）の比較

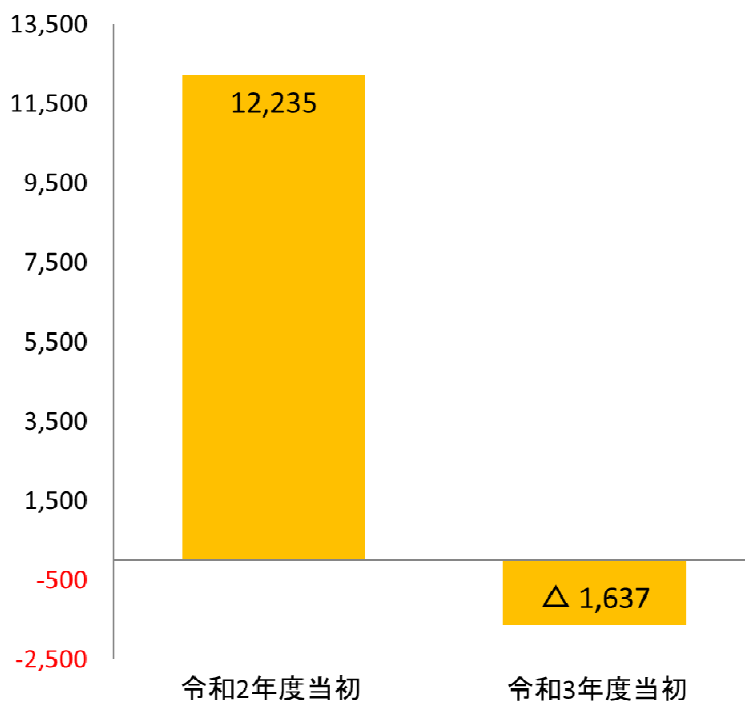
【単位：千円】



非現金支出である減価償却費が会計上の営業費用として計上されるため、営業損益は大幅なマイナスを見込む。

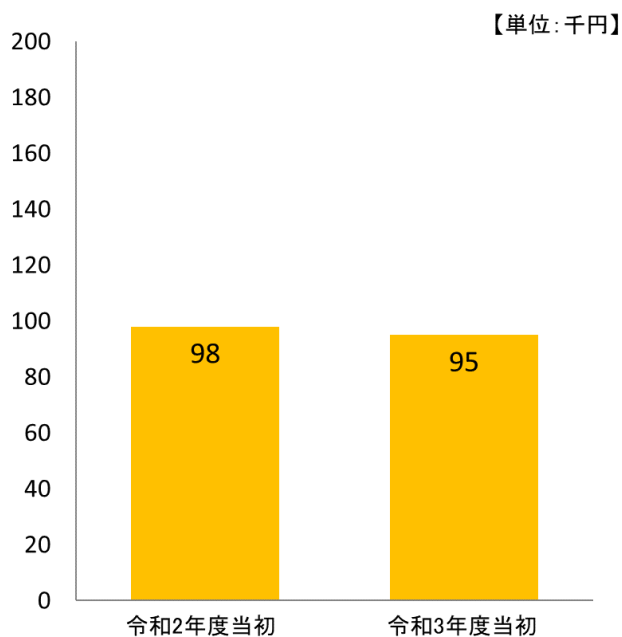
経常利益の比較

【単位：千円】



道路改良に伴う支障移転等の資産減耗費の増加により、経常利益は令和2年度予算比で減収を見込む。

当年度純利益の比較



当年度純利益は令和 2 年度予算
とほぼ同額を見込む。

(5) 予定キャッシュ・フロー（資金状況）について（別紙：令和 3 年度当初予算書 P15 参照）

令和 3 年度のキャッシュ・フローの概要は以下のとおりである。

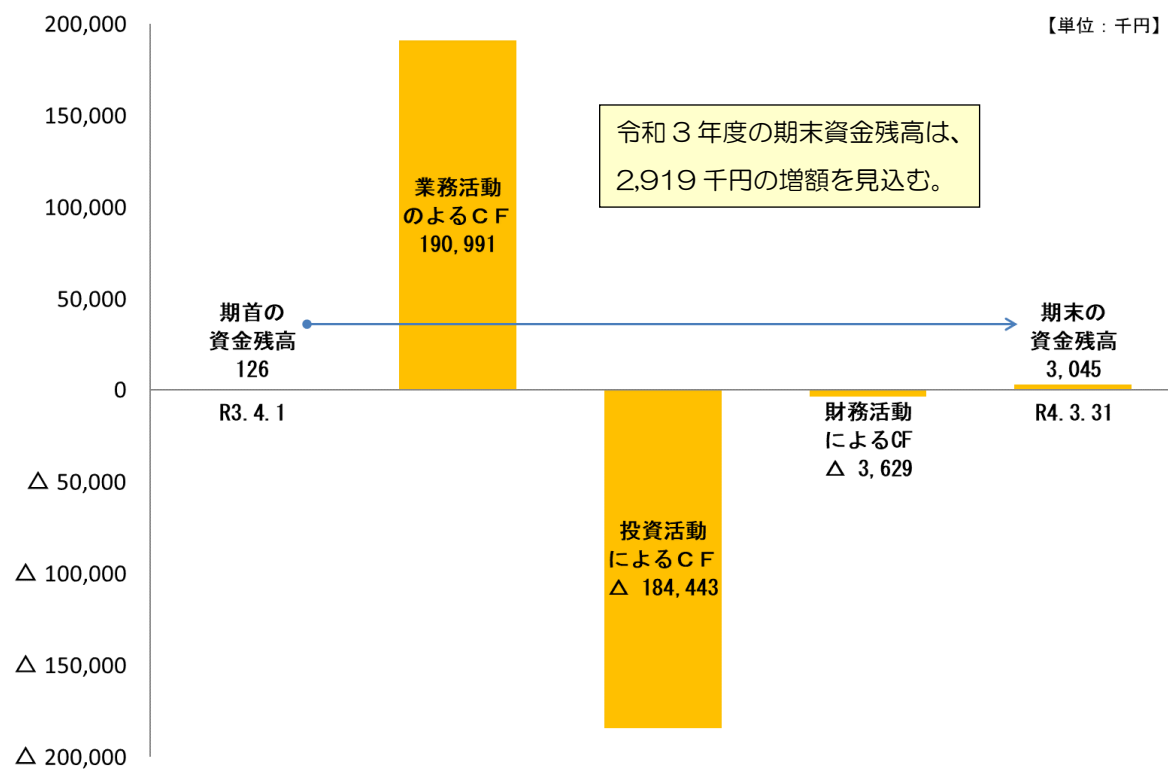
【令和 3 年度予定キャッシュ・フロー計算書】

・業務活動による CF	190,991 千円
・投資活動による CF	△184,443 千円
・財務活動による CF	△3,629 千円
・資金増加額	2,919 千円
・資金期首残高	126 千円
・資金期末残高	3,045 千円

令和 3 年度予定キャッシュ・フロー計算書において、業務活動によるキャッシュ・フローは 190,991 千円の黒字、投資活動によるキャッシュ・フローは 184,443 千円の赤字、財務活動によるキャッシュ・フローは 3,629 千円の赤字を見込む。

その結果、令和 3 年度末の資金残高は、令和 2 年度決算見込額と比べ 2,919 千円増加し、3,045 千円となる見込みである。

令和 3 年度予定キャッシュ・フロー計算書



3 主要事業の状況

「持続可能な下水道事業経営」を推進していくため、浜田処理区整備事業、ストックマネジメント改築事業、三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業、旭浄化センター汚泥処理施設改築事業等を実施する。

(1) 浜田処理区整備事業

- 設計業務委託

浜田処理区の処理場に係る設計業務委託を行う。

- 用地取得費

処理場用地の取得費を計上する。

(2) スtockマネジメント改築事業

- 工事請負費

ストックマネジメント計画に基づき、国府真空式下水道システムや旭処理区、三保三隅処理区のマンホールポンプや処理場機器の改築を行う。

(3) 三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業

- 工事請負費

福浦地区漁業集落排水施設と三保三隅処理区公共下水道を統合するために管渠工事を行う。

(4) 旭浄化センター汚泥処理施設改築事業

- 工事請負費

旭浄化センター汚泥処理施設の改築を行う。

4. 令和2年度予算との比較

【当初予算での比較】

■ 下水道事業収益（税込み）

（単位：千円、％）

項	目	令和3年度予算	令和2年度予算	増 減	増 減 率
営業収益		114,154	93,360	20,794	22.3%
	下水道使用料	113,325	92,376	20,949	22.7%
	その他営業収益	829	984	△ 155	-15.8%
営業外収益		466,096	430,661	35,435	8.2%
	受取利息及び配当金	1	1	0	0.0%
	他会計補助金	298,700	302,105	△ 3,405	-1.1%
	長期前受金戻入	167,394	128,554	38,840	30.2%
	雑収益	1	1	0	0.0%
特別利益		3,032	0	3,032	-
	過年度損益修正益	3,032	0	3,032	-
合 計		583,282	524,021	59,261	11.3%

■ 下水道事業費用（税込み）

（単位：千円、％）

項 目	経費の詳細	令和3年度予算	令和2年度予算	増 減	増 減 率
営業費用		520,888	458,268	62,620	13.7%
	人件費	36,090	36,551	△ 461	-1.3%
	給料	16,147	16,380	△ 233	-1.4%
	手当等（賞与引当金繰入を含む）	10,843	10,448	395	3.8%
	法定福利費	8,740	9,363	△ 623	-6.7%
	報酬（審議会委員）	360	360	0	0.0%
	諸経費	110,412	111,947	△ 1,535	-1.4%
	備用品費	1,187	1,038	149	14.4%
	燃料費	12	12	0	0.0%
	委託料	72,218	75,500	△ 3,282	-4.3%
	修繕費	4,183	4,694	△ 511	-10.9%
	工事請負費	4,271	2,508	1,763	70.3%
	動力費	23,428	23,315	113	0.5%
	薬品費	1,000	1,000	0	0.0%
	その他諸経費	4,113	3,880	233	6.0%
営業外費用	減価償却費	289,533	298,770	△ 9,237	-3.1%
	資産減耗費	84,853	11,000	73,853	671.4%
		60,713	55,299	5,414	9.8%
特別損失	支払利息	53,013	53,301	△ 288	-0.5%
	雑支出	7,700	1,998	5,702	285.4%
		100	11,842	△ 11,742	-99.2%
予備費	過年度損益修正損等	100	53	47	88.7%
	その他特別損失	0	11,789	△ 11,789	-100.0%
		1,200	300	900	300.0%
予備費	予備費	1,200	300	900	300.0%
		1,200	300	900	300.0%
合 計		582,901	525,709	57,192	10.9%

5. 収支の状況

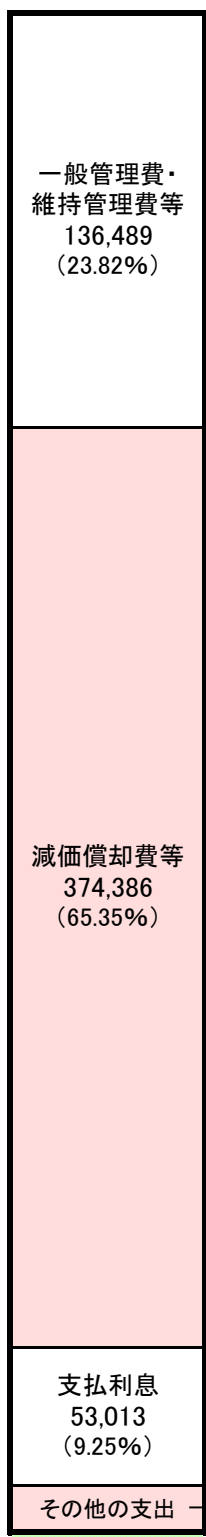
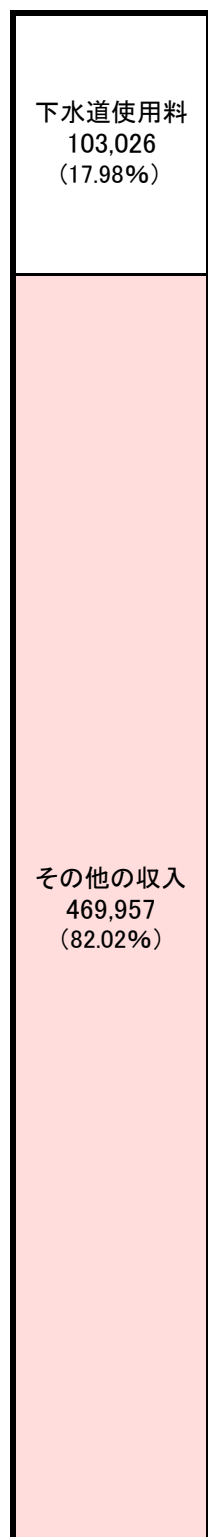
◆収益的収支

(事業、施設の管理に関する収支)

単位：千円（税抜き）

収入 572,983

支出 572,888



その他の支出

9,000
(1.57%)

純利益
95

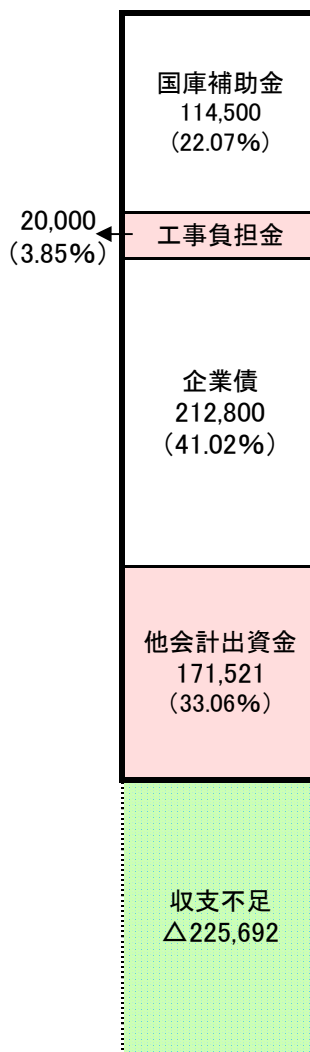
◆資本的収支

(施設の建設・改良などに関する収支)

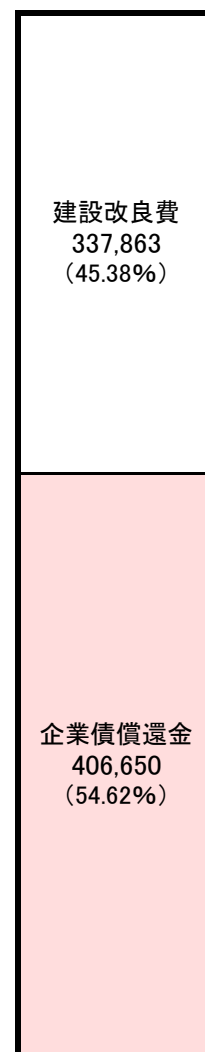
単位：千円（税込み）

収入 518,821

支出 744,513



収支不足
△225,692



【収益的収支】

収入572,983千円、支出572,888千円のため、当年度純利益は95千円となる。

その他の支出は、営業外費用の雑支出7,700千円、特別損失100千円、予備費1,200千円の合計としている。

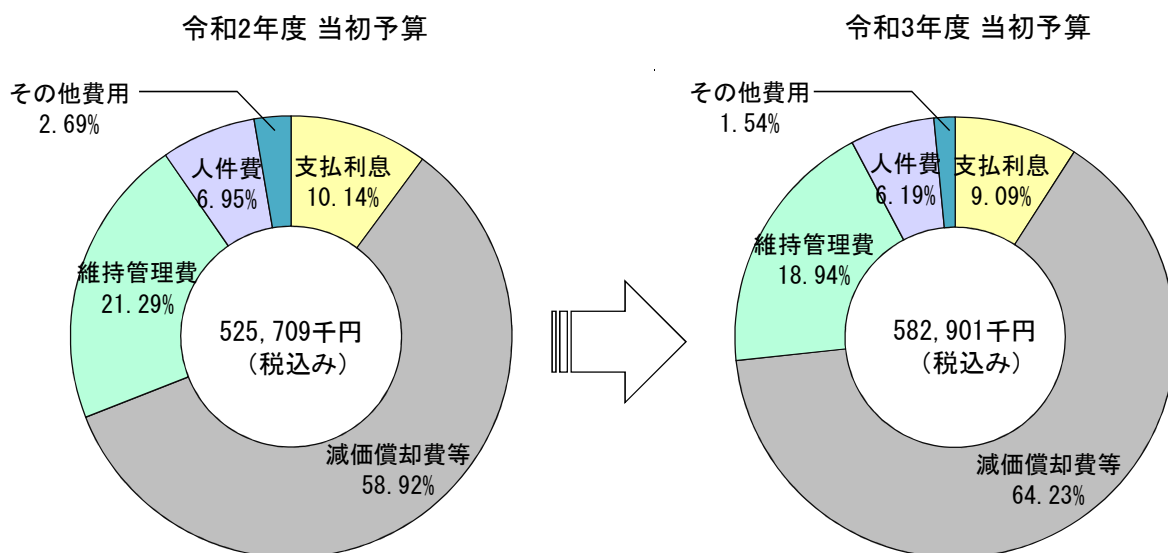
【資本的収支】

収入518,821千円、支出744,513千円のため、225,692千円の収支不足が発生するが、この不足分については、減価償却費等の現金支出を伴わない費用などの内部留保資金で補てんする。

※構成比は、四捨五入のため一致しない場合があります。

6. 公共下水道事業費用の構成

令和3年度の公共下水道事業費用として、582,901千円（税込み）を見込んでいる。
 構成の内訳としては、人件費6.19%、支払利息9.09%、減価償却費等64.23%、維持管理費18.94%、
 その他費用1.54%となっており、減価償却費等と維持管理費で全体の80%以上を占めている。



※構成比は、四捨五入のため一致しない場合があります。

7. 公共下水道事業職員数

公共下水道事業の職員数について、事業全般、使用料の賦課徴収に係る職員2名、維持管理に係る職員2名、建設改良事業に係る職員2名の6名としている。

公共下水道事業職員数

(単位:人)

	令和2年度	令和3年度
年度末職員数	6	6
増減		0

8. 収支の概要

1. 収益的収入

583,282千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	収入項目及び収入概要	収入予定額
	営業収益	114,154
1	下水道使用料 下水道使用料収入	113,325
2	その他営業収益 下水道使用料、受託工事収益以外で通常発生する収益 ○手数料 ○雑収益 他	829
	営業外収益	466,096
3	受取利息及び配当金 預金利息	1
4	他会計補助金 一般会計補助金 ○減価償却費及び資産減耗費にかかる補助分 206,992千円 ○運営に対する補助分 91,708千円	298,700
5	長期前受金戻入 減価償却費に見合う財源の収益化額 【財源の内訳】 ○国県補助金 164,465千円 ○負担金 2,929千円	167,394
6	雑収益 営業外で発生する雑収益 ○行政財産使用料	1
	特別利益	3,032
7	過年度損益修正益 前年度以前の損益の修正で利益の性質を有するもの	3,032
	下水道事業収益合計	583,282

582,901千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	支出予定額
	営業費用	520,888
1	管渠費 管渠に係る設備の維持管理に要する費用 ○動力費 ○施設維持管理委託料 ○施設維持修繕費 他	19,035
2	ポンプ場費 ポンプ場施設に係る設備の維持管理に要する費用 ○動力費 ○施設維持管理委託料 ○施設維持修繕費 他	2,506
3	処理場費 処理場施設に係る設備の維持管理に要する費用 ○職員給与費 2人 ○動力費 ○施設維持管理委託料 ○工事請負費 ○施設維持修繕費 他	93,751
4	業務費 下水道使用料の調定、集金及び検針等に要する費用 ○職員給与費 1人 ○金融機関取扱手数料 ○検針業務委託料 他	11,455
5	総係費 事業活動の全般に要する費用 ○職員給与費 1人 ○退職手当組合負担金 ○退職給付費 ○業務委託料 他	19,755
6	減価償却費 固定資産の減価償却に要する費用	289,533
7	資産減耗費 資産の減耗に要する費用	84,853
	営業外費用	60,713
8	支払利息及び企業債取扱諸費 企業債利息 ○起債利息分 50,519千円 ○一時借入金利息分 2,494千円	53,013
9	雑支出 上記以外の営業外費用	7,700
	特別損失	100
10	過年度損益修正損 前年度以前の損益の修正で損失の性質を有するもの	100
	予備費	1,200
11	予備費 予備費	1,200
	下水道事業費用合計	582,901

※営業外費用中、企業債利息の支払に要する経費に充てるため、資本費平準化債18,700千円を借り入れる。

3. 資本的収入

518,821千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	収入項目及び収入概要	収入予定額
	国庫補助金	114,500
1	国庫補助金 ○浜田処理区整備事業 63,000千円 ○ストックマネジメント改築事業 16,500千円 ○三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業 35,000千円	114,500
	工事負担金	20,000
2	工事負担金	20,000
	企業債	212,800
3	企業債 建設改良事業に充てるための企業債 ○浜田処理区整備事業 61,600千円 ○ストックマネジメント改築事業 22,800千円 ○三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業 38,500千円 ○旭浄化センター汚泥処理施設改築事業 25,000千円 ○公共ます設置事業 10,000千円 ○道路改良に伴う支障事業 5,000千円 ○資本費平準化債 49,900千円	212,800
	他会計出資金	171,521
4	他会計出資金 一般会計出資金 ○建設改良事業にかかる起債償還分	171,521
	資本的収入合計	518,821

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 225,692千円は、当年度分損益勘定留保資金 225,692千円で補てんするものとする。

4. 資本的支出

744,513千円

(単位:千円・税込み)

整理 番号	事業名及び事業概要	支出予定額
	建設改良費	337,863
1	資産購入費 資産購入費	53,842
2	管渠費 管渠の建設改良等に要する支出 ○職員給与費 1人 ○委託料 浜田処理区整備事業 調査業務 ストックマネジメント改築事業 調査業務 ○工事請負費 ストックマネジメント改築事業 三隅地方地区農集・福浦地区漁集の公共下水道への統合事業 公共ます設置事業	169,283
3	処理場費 処理場の建設改良等に要する支出 ○職員給与費 2人 (内、会計年度任用職員 1人) ○委託料 浜田処理区整備事業 設計業務 ストックマネジメント改築事業 調査業務 ○工事請負費 ストックマネジメント改築事業	114,738
	企業債償還金	406,650
4	企業債償還金 企業債償還元金	406,650
	資本的支出合計	744,513